

24期4号

特集記事について

◆教職員から

「広島大学へのフィードバック」というテーマについては、少し疑問である／広島大学がもと開かれた大学になるべきという点、興味深く読みました／アジア地域の大学についての記事があれば一層よかったです。

ヨーロッパ、アメリカ以外に留学された方にも参加してほしかったというご意見をお二人の方から頂きましたが、今回は文部省長期在外研究員として留学された方を対象とし、それらの方々の留学先がヨーロッパ、アメリカのみであったので、結果としてこのようなことになりました。

開かれた学問について

◆教職員から

内容と「開かれた学問」という区分との関係が不明確であった／筆者はなかなかの文章達者で、地球と太陽のエネルギーの関連を分かりやすく書いておられ、感心した。

「開かれた学問」は、旧「学内通信」から「広大フォーラム」に名称変更されたときに、広島大学では〈今〉、〈何〉

が研究されているかを広く内外に知ってもらうことを目的に設けられたものです。

留学生の眼について

◆教職員から

カーンさんは、何ものにも直ちに触発されて反応するすばらしい能力を持った青年である。「日本人より日本人らしい」と彼に言う日本人の感情についても考えているとのこと、それについてぜひ書いて頂きたい。

◆学生から

外国に留学した広大の学生の記事も載せたらおもしろいと思う。

今後に期待する記事・内容等、その他気付いた点について

◆教職員から

現在進行中の大学改革についてもつと論争の場を設ける必要がある。移転の進行状況については、問題点も含め毎号記事にして頂きたい／自己点検・評価の問題について取り上げて頂きたい。

◆学生から

広大の教官が、若い時代、どのようなことに関心を抱き研究を始めたのかを、毎号二、三人ずつ〇〇教授の若き日〇〇などと題して連載しては。

24期5号

表紙のデザイン、色等を含めた本誌の印象について

◆教職員から

全体にめりはりに乏しく、アビール性、インパクトが小さい／以前よりスマートになった。全体を一層カラフルにして、年間変えないようにしては。横の白線は2、3本の方がスマート、校章は不要。

特集記事について

◆学生から

平素尊敬する先生方の記事が載っていて感動的でした。写真については、お弟子さんと一緒に楽しんでおられるものが印象深かった／退職される方への一言で、退職される方がどのような

人であるのかが分りました。

留学生の眼について

◆学生から

話題が限られている。留学生の詩、コント、あるいは美術感想などに広げることができないか／私達自身では、しがらみやタブーの関係であそこまではつきりいえないので、この欄は貴重と思う。

今後に期待する記事・内容等、その他気付いた点などについて

◆学生から

移転について詳しく公表してほしい。二部の問題、図書移転、サークル棟のことなどについて、学生の間にはかなりデマじみたうわさが流れることがある。これは、はつきり公表しないからだと思う。

